

目標達成計画

作成日: 平成 31年 3月 2日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有及び実践について職員間での意識が薄れている	理念が共有され、実践につながる	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員のベクトルがひとつになるよう、理念に基づいた事業所目標(ユニット目標、個人目標)を立てて実践する。 ・定期的な振りかえりの機会をもち実践に活かす 	12ヶ月
2	33	延命治療についての意向は口頭で確認している	書面をもって延命治療についての意向が把握できる	<ul style="list-style-type: none"> ・「意思確認書」を作成し、利用者・家族が現段階での延命治療についてどう考えているか書面をもって確認する ・意向については定期的に聴取し、変更がないか確認をおこなう 	12ヶ月
3	35	<ul style="list-style-type: none"> ①夜間想定訓練がおこなえていない ②防災訓練に消防署職員の立ち合いがない 	マニュアルを整備し、専門家の指導のもと様々な想定 of 訓練をおこない、より安全・確実な災害対策が実施できる	<ul style="list-style-type: none"> ①夜間想定訓練の実施 ②年に一度は消防署に立ち合いを求め、具体的な指導を仰ぐ 	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。